

# トランプ政権の対外政策と日米関係

令和2年3月



公益財団法人日本国際問題研究所  
The Japan Institute of International Affairs

## はしがき

本報告書は、当研究所が平成 29～31 年度外務省外交・安全保障調査研究事業（発展型総合事業）「『自由で開かれた国際秩序』の強靱性—米国、中国、欧州をめぐる情勢とそのインパクト」のサブ・プロジェクトの一つとして実施してきた研究プロジェクト「トランプ政権の対外政策と日米関係」における 3 年目の成果をとりまとめたものです。

「自由で開かれた国際秩序」を主導してきた米国に、「アメリカ・ファースト」を掲げ、諸外国との対立も辞さない一方で国際秩序の重要性に大きな関心を払わない姿勢を示すトランプ政権が誕生した影響はきわめて大きく、我が国の同盟国である米国の政策動向は我が国の安全保障と経済の安定的発展に直接的に影響を及ぼし得ます。

本プロジェクトは、トランプ政権誕生によって米国の内政と外交にいかなる変化が見られたのか、そして、自由と民主主義を標榜してきた米国の国際社会における役割が質的に転換するのか否かを見極めるという問題意識に立って進められており、トランプ政権の内政と外交をめぐる諸問題について分析し、現況を的確に把握することに努めた研究成果です。

なお、ここに表明されている見解は、すべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありません。本報告書がわが国の外交実践に多く寄与することを心より期待します。本報告書に対する忌憚なきご意見、ご批判をいただければ幸いです。

最後に、本研究に積極的に取り組まれ、報告書の作成に尽力いただいた執筆者各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係者各位に対し改めて深甚なる謝意を表します。

令和 2 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所  
理事長 佐々江 賢一郎